

日比谷の国語

配点 大問1 10点 大問2 10点 大問3 28点 大問4 32点 大問5 20点

2024年度試験問題

目標点 65点

設問ごと分析

大問	出題内容	難易度	配点	大問	出題内容	難易度	配点	
大問1	漢字の読み			大問4	論説文			
	(1) 出帆	B	2		問1	内容把握	A	4
	(2) 斬る	A	2		問2	内容把握	A	4
	(3) 眉唾物	A	2		問3	内容把握	B	4
	(4) 閑寂	A	2		問4	内容把握	C	4
(5) 塞翁	A	2	問5	内容把握	B	4		
大問2	漢字の書き			問6	250字作文	C	12	
	(1) カイシン	B	2	大問5	現古融合文			
	(2) ボウガイ	A	2		問1	語彙	A	4
	(3) フタイトン	B	2		問2	内容把握	B	4
	(4) イチヨウライフク	D	2		問3	内容把握	B	4
(5) サイヒ	A	2	問4		内容把握	B	4	
大問3	小説文			問5	内容把握	C	4	
	問1	心情把握	A	4				
	問2	心情把握(80字記述)	C	8				
	問3	心情把握	A	4				
	問4	心情把握	A	4				
	問5	心情把握	A	4				
問6	内容把握	C	4					

問題分析

- 1 漢字の読み 2 漢字の書き 3 小説文(約3600字)
- 4 論説文(約4600字) 5 現古融合文(約3600字)

講評 文章量が昨年より約1200字増えている以外は例年とほぼ同じスタイル

1 中学生にとっては日常生活で使用する機会が少ない熟語が出題される。

2 個々の漢字は難しくないものの意味を推測することが難しく、高難度の問題。

3 陶芸家が自身の仕事のあり方について苦悩の様子を描いた場面からの出題。

問2の「出口はますます遠のいた」を記述する問題は、比喩表現およびその原因に言及することがポイント。

出題は河崎秋子「温む骨」より。

4 「AIによって科学がどうなるのか」を述べた論説文。

文章量が多く、かつ、専門用語も多いため、細部まですべて理解することは困難。

その中でも論旨の展開を押さえつつ、筆者が問題としていることや懸念を類推する力が要求される。出題は大塚淳「深層学習後の科学のあり方を考える」より。作文の題「AIの活用の可能性」について本文の内容を踏まえ、自分の考えを書く

5 和歌を詠む際に花を含むことの意義についての文章。

8首の和歌を題材に言葉について考える文章でわかりにくく感じるが、直後の現代語訳や筆者の解釈を理解していくことで内容理解が深まっていく構成。出題は中西進「万葉のことばと四季」から。

日比谷の数学

配点 大問1 25点 大問2 25点 大問3 25点 大問4 25点 (記述2題)

2024年度試験問題

目標点 60点

設問ごと分析

大問	出題内容	難易度	配点	大問	出題内容	難易度	配点		
大問1	小問集			大問3	平面図形(円)				
	問1	根号を含む計算	A		5	問1	円周角	B	7
	問2	二次方程式	A		5	問2(1)	円がらみの証明	B	10
	問3	確率(サイコロ)	B		5	問2(2)	三平方の定理	C	8
	問4	データの活用	A		5				
問5	作図	B	5	大問4	空間図形(影)				
大問2	二次関数				問1	相似	A	7	
	問1	線分の長さ	A		7	問2(1)	図形の移動と面積の変化	B	5
	問2	線分比	B	10	問2(2)	図形の移動と面積の変化	C	5	
問3	座標平面の平行四辺形	B	8	問3	面積の最大値	D	8		

問題分析

- 1 小問集+作図 2 関数 二次関数
- 3 平面図形(円) 4 空間図形(四角すい、影)

講評 今年度は記述が1題減少。「時間は与えるので、しっかり答えを出して欲しい」という学校側の方針が伝わる。昨年よりははやや解きやすい。

1 例年通り。小問集合5題。今年は四分位数の問題が出題された。

全問正解を目指したい。計算力は重要。

2 例年通り、関数の出題。標準的な問題なので全問正解をめざしたい。

座標を文字で置くことは定番だが、負の値を文字で置いて処理することは練習が必要。

3 円の問題。問1角度を求める問題は基本的。問2が合否分かれ目。

円に関する問題の練習量が問われた。

4 空間図形。今年は「影」に関する問題。今はやりの、問題文が会話形式になっている。

必要な条件を読み取る力が重要。問1は確実に正解したい。

日比谷の英語

配点 大問1 20点 大問2 34点 大問3 34点 大問4 12点(英作文3題)

2024年度試験問題

目標点 60点

設問ごと分析

大問	出題内容	難易度	配点	大問	出題内容	難易度	配点		
大問1	リスニング			大問3	説明文読解				
	問題A	対話文1 内容一致	A		4	問1	内容一致	A	4
		対話文2 内容一致	A		4	問2	空所補充	B	4
		対話文3 内容一致	A		4	問3	不要な文の選択	B	4
	問題B	Q1 内容一致	A		4	問4	英作文	D	6
		Q2 内容一致記述	D		4	問5	適所選択	B	4
大問2	対話文読解			問6	空所補充	B	4		
	問1	空所補充	B	4	問7	内容一致	C	8	
	問2	文整序	A	4	大問4	英作文			
	問3	語句整序	B	4		自由英作文	C	12	
	問4	内容一致	B	4					
	問5	英作文	C	10					
問6	内容一致	B	8						

問題分析 英文量約2500語

- 1リスニング 2対話文 3 説明文 4 英作文

講評

1 BのQ2の正答率が35.3%と低い。単語スペルミスや冠詞の付け忘れなどに注意。

2 環境に配慮した新しいコンクリートや木材などについての対話文

問5はなぜedible concreteがsustainableなのか、food lossの観点から述べる自由英作文。food lossを減らすことが結果としてどうなるのかまで明確に記述しないと得点にならない。

3 記憶と忘却のメカニズムについての説明文

問4は「不要な情報を除去して容量を確保する」という内容を記述することが求められているが、空所前後の内容を精読し、論理的整合性が取れる力を問われている。

4 複数の資料をもとに自身の考えを記述する問題。

資料で与えられた情報のそれぞれの利点を踏まえ、時間をかけずにまとめる力が求められている。

解答作りのポイント ①意見表明 ②理由の要約 ③状況を含めた詳細な理由の説明

※網掛けが濃い設問は記述の設問です。

2024目標点 英数国180+理社177=357
目標内申 63/65

A: 易しい(全問正解したい) 目安→正答率80%以上

B: 標準(落とせない) 目安→正答率79~60%

C: やや難問(合否を分ける問題) 目安→正答率59~40%

D: 難問(1問でも出来ればよし) 目安→正答率39~11%

E: 超難問(できなくても気にしない) 目安→正答率10%以下